

旧石器ハテナ館だより

せんとうき

尖頭器



尖頭器とは、主に旧石器時代に使われた狩猟具です。

相模原市立
史跡田名向原遺跡
旧石器時代学習館
(旧石器ハテナ館)

〒252-0245 神奈川県相模原市
中央区田名塩田 3-23-11

TEL042-777-6371
令和8年3月31日発行
【第50号】



ハテくん



テナちゃん



ハテナ館HP

旧石器ハテナ館まつりを行いました！！

10月18日(土)、今年度も恒例の「旧石器ハテナ館まつり」を行いました。

当日は、家族連れやグループ、歴史に興味のある方々などで、各ブースは大盛況となりました。

「火おこし体験」では、例年の「ひもぎり式」火おこしの他に、「舞いぎり式」や「きりもみ式」も体験できました。実際に火をおこすのはなかなか難しいのですが、参加者の皆様はとても熱心で、多くの方が火おこしに成功していました。



「土でつくるアクセサリ」では、縄文時代の服装をした土器づくりの会の皆様が指導する、古代の雰囲気たっぷりのところで、粘土を使い、思い思いの形のアクセサリを作っていました。

「弓矢射的体験」では、イノシシやシカの的に向かって矢を放ちました。意外と難しい射的に、古代の人々の生活のたいへんさも体験できたようです。なお、「土でつくるアクセサリ」「弓矢射的体験」のそれぞれのブースで



は、今年は県立相模田名高校の生徒がボランティアとして運営に加わり、参加した小学生などに丁寧に教える様子も見られました。

また、昨年に引き続き、博物館の学芸員による「石器づくり実演」も行われました。田名向原遺跡の目玉ともいえるべき旧石器時代の住居状遺構では、黒曜石製の石器が多く見つかったことが特徴です。その黒曜石を、実際目の前であたかも魔法を使うようにどんどん形を変えていく様子に、見学者も見とれていました。



会場内の広場では、地域の方による「昔遊び」が行われ、竹馬や竹トンボ、水鉄砲など、



子どもたちが楽しんでいました。隣では、市の環境情報センターによる「自転車をこいで発電しよう」も行われ、電気を自ら作る体験を楽しむ子どもたちの様子も見られました。

学習館の実習室では、女子美術大学の橋本弘安名誉教授による「岩絵具体験」が行われ、丁寧な説明やご指導の中、参加者の方々は思い思いの絵を、自分で石を砕いて作った絵の具を用いて描いていました。世界で一つだけの自分の作品をもって、皆様とても満足そうでした。



他にも、「古代の魚釣り体験」「古代服を着てみよう」「古墳の解説」「日本最古の建物のお話」「クイズラリー」などが行われ、各ブースともに、参加者の皆様の笑顔や笑い声があふれていました。

半日という短い時間でしたが、参加者の皆様には、古代を思い思いに体験し、感じる事ができたのではないかと思います。



参加者の皆様、ご協力いただいた方々、まことにありがとうございました。

旧石器ハテナ館のキャラクター

旧石器ハテナ館では、入口の両側で男の子と女の子が迎えてくれます。男の子が「ハテくん」、女の子が「テナちゃん」です。この二人には、長い間名前が無かったのですが、令和5年10月に名前を公募し、61点の応募の中から5点に絞り、その年の「旧石器ハテナ館まつり」の来場者投票により、市内の小学生が考案した「ハテくん テナちゃん」に決定しました。というわけで、実は、名前がついてまだ2年ほどしかたっていないのです。どうぞみなさん、覚えてくださいね。



講座「川原石のふしぎ」

10月25日(土)、市立博物館の河尻清和学芸員に講話と石図鑑づくりの指導をしていただきました。

当日は雨天により、予定していた河原での石採集はできませんでしたが、事前に採集した川原石を用いて、講師から細かいアドバイスを受けながら、自分だけの石図鑑を作ることができました。参加者の皆様は、皆、満足した表情でした。



探訪「谷原古墳群を歩く」

～古墳時代の原風景を求めて～

11月8日(土)、市文化財課の齊藤真一学芸員の解説で、旧石器ハテナ館の近隣にある古墳の探訪を行いました。

まずは遺跡公園の谷原12号墳を見学し、同じ谷原古墳群の古墳があった場所を巡りながら、現存する1、3、4号墳を見学しました。その後、坂を上り下りしながら、少し離れたところにある東原(あずまはら)古墳まで歩きました。参加された皆様は古墳好きの方が多かったようで、専門的な質問も多く、有意義な探訪となりました。



講演「相模原から古墳を臨む —後期・終末期古墳を中心に—

3月7日(土)、かながわ考古学財団の新山保和氏にご講演をいただきました。

講演では、畿内や神奈川県における後期・終末期の古墳を中心に、豊富な写真を用いて、発掘や調査のエピソードなど交え、細かく説明していただきました。古墳に関する専門的なお話で、参加者の皆様は熱心にメモをされるなど、興味深く聞き入られていました。



ミニ展示「遺跡の宝庫さがみはら ～相模原の古墳時代～

今年度のミニ展示は、相模原の古墳時代をテーマに、1月31日から3月30日までの期間で開催いたしました。相模原市内には古墳時代の住居跡や古墳がいくつか発見されています。今回は、直刀や勾玉など古墳の副葬品や、甕(かめ)、甑(こしき)、高坏(たかつき)など住居跡からの出土品も展示しました。ふだんとは違う展示物に、来館者の皆様には興味をもって、ご覧いただきました。



☆今年度後半「体験教室」の振り返り☆

今年度も、体験教室は通年と月替わりの二本立てで行いました。後半の月替わり体験を振り返ってみます。

◎火おこし道具づくり(10月)

「火きり棒」か「火打ちがね」のどちらか一つを作り、実際に火おこしを体験しました。なかなか火がつかない時もありましたが、ようやく火がついた時は、参加者・職員ともども大喜びでした。



◎銅鏡レプリカづくり(11月)

流し込んだ合金が冷えたところで型をはずします。その瞬間が体験者も職員もドキドキ。その後、丹念にひたすら磨いて、出来上がった鏡の輝きに、みなさん喜んでいました。

◎黒曜石で尖頭器づくり(12月)

黒曜石をシカの角で加工していくのですが、思った通り石が割れるとは限りません。最初のイメージとは違う形になっても、みなさん楽しみながら作業に取り組まれていました。



◎埴輪づくり(1月)

好評により、今年度2回目となる埴輪づくりです。体験者の皆様は、それぞれ思い思いに自分だけの埴輪をつくっていました。みなさん埴輪づくりの楽しみを味わっていました。

◎ガラスの玉づくり(2月)

ガラス棒をガスの炎で溶かし、巻きつけ法でガラス玉を作りました。みなさん、集中した作業のあとは、自分が選んだお気に入りの色のガラス玉を、うれしそうに持ち帰られていました。



◎編布(あんぎん)コースターづくり(3月)

縄文時代の布である編布の技法を用いたコースターづくりです。糸を1本ずつ編んでいく作業で、なかなか集中が必要でしたが、みなさんよく頑張って、自分だけのコースターを持ち帰られました。